

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と 今後の改善方針
重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見	
中高一貫教育の推進	①連携型中高一貫教育における中学校との相互交流で学力の向上を図る。 ②連携中学校との交流を活性化するとともに、地域へ本校教育活動に関する情報発信に努める。	評価指標 ①「学校では、生徒の基礎学力の向上に向けた取組が行われている」と思う生徒の割合が70%以上。 ②「学校からの通知や便り、ホームページなどは本校理解に役立っている」と思う保護者の割合が70%以上。	評価指標の達成度 ①「あてはまる」と答えた生徒の割合は77.5%、「あてはまらない」9.2%、「わからない」13.3%であった。 ②「あてはまる」と答えた保護者の割合は70.2%、「あてはまらない」11.4%、「わからない」18.4%であった。	総合評価 (評定) A (所見) 高校入学前のウオームアップガイダンス、入学後の交流授業や参観授業を通して、生徒は基礎学力の向上を目指す意欲を高めているが、学力定着のための対策が必要である。 また、ホームページ更新の頻度は昨年度より大幅に増えた。学校教育活動の広報とアピールにつなげていきたい。 新型コロナウイルス感染症対策には生徒・保護者とも理解を示している。	○ 交流授業や参観授業、ガイダンス、教員による代表者会や部会など多数の活動計画により、中高双方の教員の指導力は生徒理解とともに確実に向上している。 しかし、高校生と中学生が一緒に交流することは、コロナ禍の影響もあり、その機会が限定的となっている。他校種の生徒や地域の方と活動することは社会性を構築し、生きる力を身に付ける良い機会となる。次年度以降、中高一貫教育活動のさらなる工夫を図りたい。
		活動計画 ①-1 交流授業を年間12回以上実施する。 ①-2 連携3校での参観(公開)授業を5教科で実施し、授業後評価を行う。 ②-1 ウォームアップガイダンスを5回以上実施する。 ②-2 阿波西だよりを年間2回発行し、近隣中学や本校保護者に配布する。 ②-3 ホームページを活用し、学校紹介・部活動紹介の広報を行う。 ②-4 阿波西人権新聞を年間3回、保護者に配付する。	活動計画の実施状況 ①-1 交流授業はどの教科も12回以上実施した。 ①-2 5教科で年間1回ずつ中高連携参観授業を実施した。参観授業後は各教科ごとに評価を行った。 ②-1 新型コロナウイルス感染症防止対策を十分にを行い、各中学校で5回実施することができた。 ②-2 近隣5中学校の中学3年生とその保護者に配布した。 ②-3 授業や行事、部活動の様子は担当者が速やかに更新した。 ②-4 人権新聞を年間3回発行し、全学年の保護者に配付することができた。		
学習指導の工夫・改善	①確かな学力と身につけた知識や技能を活用する思考力と実践力の育成を図る。 ②研究授業や参観授業、教員研修等により、授業構想力と実践力の向上に努める。	評価指標 ①「朝の学習や資格取得に向けて熱心に取り組んだ」生徒の割合が70%以上。 ②「教員はわかる授業をめざして授業を工夫している」生徒の割合が70%以上。	評価指標の達成度 ①「あてはまる」と答えた生徒の割合は1年生84%、2年生76%、3年生84%であった。 ②「あてはまる」と答えた生徒の割合は1年生82%、2年生71%、3年生78%、全体77%であった。	総合評価 (評定) A (所見) 朝の学習やティームティーチングによる授業は、生徒にわかりやすい授業として評価されている。また、「マナトレ」の活用は、生徒が主体的に学習に取り組むための一つの手段として効果があると考えている。 本校のICT活用を取り入れた授業は、県教育委員会より、一人一台端末を活用した授業実践の好事例として評価されている。	○ 徳島県GIGAスクール構想に則り、ICT機器の活用を推進している。今年度の総合的な探究の時間では、1年生はSDGsに関して興味のあるテーマを研究、2年生は進路調べをして、それぞれPowerPointでスライドを作り、発表した。 生徒が情報化社会を生きる上で必要な力を伸ばせるよう、今後もICTを積極的に活用した教育活動を進めていきたい。 生徒の習熟度には差があると思われるが、生徒個々の状況に合わせて、丁寧な指導を行っている。
		活動計画 ①-1 朝のHR活動前の20分間学び直しトレーニングを実施し、「マナトレ」を活用することで義務教育段階の学習内容の確実な定着に向けて、個々の学力に応じた指導を全教員で行う。 ①-2 ワークショップの手法を生かした生徒主体の学習を実施する。 ①-3 漢字検定や英語検定、専門科目の資格取得をめざした学習を推進する。 ②-1 研究授業、参観授業及び教員研修を積極的に行う。 ②-2 ICTを取り入れた授業を実施する。	活動計画の実施状況 ①-1 各学年団で実施し、教員が個別に指導していく中で一定の成果を得ることができた。学年末にはマナトレ検定を実施し、基礎学力定着の確認と自己評価につなげている。 ①-2 放課後補習等で実施した。 ①-3 コロナ禍の中ではあったが、検定の受検を奨励し、学習環境を整えていくなかで、検定合格につなげることができた。 ②-1 国語、地歴、保健体育、英語、福祉、HR活動において研究授業と研究協議を実施した。 ②-2 電子黒板や一人一台端末を活用した授業を行い、教員のICT活用指導力の向上に努めた。		
進路指導の充実	①キャリア教育を推進し、持続可能な社会の形成者として自立して生きていく力を育成する。	評価指標 ①「学校では、生徒の希望を尊重したきめ細やかな進路指導ができています」と思う生徒の割合が70%以上。 ②「学校では、読書する習慣を身に付けさせる活動が行われている。」と思う生徒	評価指標の達成度 ①「あてはまる」と答えた生徒の割合は、全体では75%となっており、1年生80%、2年生67%、3年生78%であった。 ② コロナ禍のため図書館利用を控える生徒が増えたことなどもあり、25%にとどまった。	総合評価 (評定) B (所見)	○ 外部機関や地域と連携を深め、インターンシップなどの体験学習、職業理解の機会を設定していきたい。 ○ 図書関係では、生徒にと

	<p>②読書の奨励を図り、生涯にわたり学び続ける能力の育成を図る。</p>	<p>徒の割合が70%以上。</p> <p>活動計画</p> <p>①-1 家庭学習の習慣を確立させ、学習時間全体平均を2時間以上にする。</p> <p>①-2 アカデミックコースは全員、他コースは希望者で補習を実施し、出席率を90%以上とする。3年生の就職希望者に補習を実施し、出席率を90%以上とする。</p> <p>①-3 卒業生との対談を実施する。（「先輩へのインタビュー」）</p> <p>①-4 個人面談を各学期に1回以上実施する。</p> <p>② 生徒一人あたり年間読書量について昨年度比からの上昇を目標とする。</p>	<p>活動計画の実施状況</p> <p>①-1 家庭学習時間調査は、毎月1回実施している。12月の調査では、全体平均が1時間47分（4月は1時間36分）であった。</p> <p>①-2 予定どおり実施することができた。出席率も90%を超えた。</p> <p>①-3 県内の事業所から14名の卒業生を招いた。インタビューを通して、仕事や職場での様子についての体験談やアドバイスをいただくことができた。</p> <p>①-4 全学年各学期ごとに面接週間を設定し、予定通り実施した。</p> <p>②一人あたり年間2.0冊（昨年度2.5冊）の貸出冊数となった。</p>	<p>進路指導については、担任と学年主任、進路指導主事等が密に連携し、生徒の進路実現のための充実したサポート体制を確立させている。各学年における補習の出席率も高い。</p> <p>図書館での貸出冊数は昨年度とほぼ横ばいではあるが、図書館利用者数は徐々に増え始めている。図書館便りの発行や新刊図書のご案内などすべての生徒にとって利用しやすいよう工夫を行っている。</p>	<p>てしっかり考え、自分に適した道を選ぶことができるよう今後もお願いしたい。</p>	<p>って図書館が利用しやすいと実感できるよう工夫を重ねている。次年度は、館内ディスプレイの作成やイベント等で図書委員が活躍できる機会を多く設けたい。</p>
<p>人権教育の推進</p>	<p>①自尊感情を高める教育を推進するとともに、人権尊重の精神の涵養に努める。</p> <p>②一人一人の人権を尊重し、他者と協働して活動できる力を育成する。</p>	<p>評価指標</p> <p>①「自分や他者を大切に思う心や態度が育っている」生徒の割合が70%以上。</p> <p>②「様々な人権問題の解決に向けて真剣に考えている。」と思う生徒の割合が70%以上。</p> <p>活動計画</p> <p>①-1 「人権に関する意識調査」の結果を基に、その後の指導へ生かしていく。</p> <p>①-2 年間1回人権コンサートを実施する。</p> <p>①-3 各学年で年間1回以上研究授業を実施する。</p> <p>②-1 「人権の日」を年間11回実施する。</p> <p>②-2 人権学習HR活動に、生徒が主体的に参加し、考える場となるよう、ワークショップによる学習を実施する。</p>	<p>評価指標の達成度</p> <p>①「あてはまる」と答えた生徒の割合は85%、「あてはまらない」2%であった。</p> <p>②「あてはまる」と答えた生徒の割合は74%、「あてはまらない」13%であった。</p> <p>活動計画の実施状況</p> <p>①-1 意識調査を行い、生徒自身が関心のある人権問題について、人権の日やHR活動で取り上げた。</p> <p>①-2 プロアドベンチャーランナー北田雄夫氏による人権教育講演会を実施した。目標に向かって挑戦する素晴らしさや困難に打ち勝つためのヒントを学ぶことができた。</p> <p>①-3 各学年で計画通り実施できた。</p> <p>②-1 計画通り年間11回実施できた。</p> <p>②-2 人権学習HR活動では、ワークショップ（体験的参加型学習）を取り入れた学習を実施し、生徒が主体的に取り組むことができた。</p>	<p>総合評価</p> <p>（評定）</p> <p>A</p> <p>（所見）</p> <p>校内体験学習は、民間教育団体とのオンライン学習を実施した。仲間づくりについて講義・ワークショップ形式で行い、自分も他人も大切にすることを学ぶことができた。</p> <p>人権学習は、ワークショップを取り入れている。この手法により、参加者の態度・意欲が喚起され、積極的な行動につながる。ファシリテーターを務める教員の技能も重要な要素となる。</p>	<p>コミュニケーション能力の育成について細かく計画、指導されている。計画を上回る結果が示されており、実績につながっている。これからも生徒をより良く伸ばす教育活動に取り組んでほしい。</p>	<p>○ 校内での人権教育推進体制を確立し、人権教育の推進を図る。人権教育をホームルーム活動をはじめとする全ての教育活動に位置づけ、全教職員で取り組む。また、アンケート等による生徒理解に努め、ホームルーム活動や学校行事を通して人権意識の一層の向上を図る。</p>
<p>生徒指導の徹底</p>	<p>①基本的な生活習慣の確立を図るとともに、正しいルール・マナーを習得させる。</p> <p>②いじめを早期に発見する態勢を整えるなど、安全教育の徹底を図る。</p>	<p>評価指標</p> <p>①「頭髪・服装等の身だしなみを整えている」、「挨拶をよくしている」生徒の割合が70%以上。</p> <p>②-1 「学校は、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる」生徒の割合が70%以上。</p> <p>②-2 「交通ルールや交通マナーを守り、交通事故の未然防止に努めている」生徒の割合が70%以上。</p> <p>活動計画</p> <p>①-1 学年集会などを通してルール・マナーを習得させ、問題行動の発生を未然防止する。</p> <p>①-2 学年主任会などで教員間の連携を密にし、些細なことも話し合い、情報の共有と組織的な対応を行う。</p>	<p>評価指標の達成度</p> <p>①「あてはまる」と答えた生徒の割合は92%、保護者の割合は、81.6%であった。</p> <p>②-1 「あてはまる」と答えた生徒の割合は46.5%、「あてはまらない」22.5%、「わからない」31.0%であった。</p> <p>②-2 「あてはまる」と答えた生徒の割合は93.0%、「あてはまらない」0%、「わからない」7.0%であった。</p> <p>活動計画の実施状況</p> <p>①-1 学年集会や日常の観察等で機会を捉え指導を行い、問題行動等の発生を未然に防いだ。</p> <p>①-2 学年主任会を年間5回開催し情報を共有した。また、課題には組織的に対応した。</p>	<p>総合評価</p> <p>（評定）</p> <p>B</p> <p>（所見）</p> <p>頭髪服装指導については、特に目立つような生徒はおらず、落ち着いた雰囲気の中で学習が行われている。いじめや問題行動については、学校生活アンケートを通じて、個人面談を行うなど細かな対応をすることでトラブルの未然防止、生徒の実態把握に努めている。</p> <p>交通安全については毎朝の立哨指導や生徒会役員の啓発活動</p>	<p>通学路には、たくさん危険性が潜んでいる。登下校時の交通安全指導について今後ともお願いしたい。</p> <p>校則を守らせる指導は大切であるが、個人の特性に応じた頭髪や服装指導など今後検討していただきたい。</p>	<p>○ 頭髪・服装等の身だしなみや学校生活について乱れはなくなっており、比較的落ち着いた状況である。しかしながら、学校生活や人間関係に悩みを持つ生徒も少なからずいる。今後さらなる生徒理解と情報共有に努め、早期発見・早期対応による問題行動等の未然防止に努めていきたい。</p> <p>交通安全啓発活動についても、関係諸機関や連携2中学校と連携を図りながら進めたい。</p>

		②-1 年間2回学校生活アンケートと個人面談を実施する。 ②-2 交通事故の未然防止のため、多彩な啓発活動を行う。	②-1 計画通りアンケートを実施し、その後個人面談を行うことで、問題の早期発見・対応につなげた。 ②-2 年間計画を立て、交通安全教室や車体検査、登校時の立哨指導、毎月20日の交通安全の日などを実施した。	など目に見える形での取り組みを行うことで、生徒の交通安全意識の向上につながっている。	
環境・防災教育の推進	①環境美化活動を推進し、環境問題に取り組む態度と実践力の育成を図る。 ②地域の課題を探究し、その解決に取り組む発想力と行動力を育成する。	評価指標 ①「清掃に積極的に取り組んだり、ゴミの分別や節電・節水に努めている」と思う生徒の割合が70%以上。 ②「防災避難訓練や防災教室に参加することで、防災に対する意識が高まった」と思う生徒の割合が70%以上。 活動計画 ①-1 日頃からゴミの分別を推進する。 ①-2 日頃から節電・節水に努める。 ①-3 地域の清掃活動や、植栽活動などに積極的に参加する。 ②-1 消防関係団体と連携した、避難訓練を実施し、生徒に避難方法や経路を十分に把握させると共に地域との連携を深める。 ②-2 防災教室を実施する。 ②-3 避難場所の調査と防災関係の資料を配付し、家族と話し合いが持てるよう指導する。 ②-4 地域のリーダーとして活躍できる実行力を養成する。	評価指標の達成度 ①「あてはまる」と答えた生徒の割合は87.3%、「あてはまらない」6.3%、「わからない」6.3%であった。 ②「あてはまる」と答えた生徒の割合は78.0%、「あてはまらない」11.3%、「わからない」10.6%であった。 活動計画の実施状況 ①-1 各教室への分別容器の設置を行い、積極的な啓発を実施した。 ①-2 校内に電気・水道使用量変遷グラフを掲示し、節電・節水につなげた。 ①-3 1・3年生によるクリーン作戦、全校生徒による学校周辺の溝清掃、環境委員及び生徒希望者による植栽ボランティアを地域と連携し実施した。 ②-1 6月には避難方法と経路の確認を、12月には中央広域連合西消防署と連携し、避難訓練を実施した。 ②-2 3月に防災教室を実施した。 ②-3 防災教室で家族の方と避難場所を確認するように促した。 ②-4 防災士の資格を生徒2名が取得した。	総合評価 (評定) A (所見) 日頃から清掃活動の徹底に努め、校舎内の環境も整備されている。今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、換気の励行や、密の回避、マスク着用など基本的な対策を徹底させた。 防災関係においては、年間計画に基づいて実施しており、予定通り実施することができた。防災士の資格取得、阿波市防災フェスタへの参加などボランティア活動が認められ、徳島県まなぼうさい賞活動賞を受賞した。	生徒には、地域との交流や連携を通して地域のリーダーになってもらいたい。学校には地元を支える人材を育ててほしい。 ○ 環境委員会をはじめとして学校全体で清掃の徹底とゴミの分別、環境整備や美化活動、節電・節水に取り組む。 ○ 防災ボランティアは、コミュニティスクールの活用により、地域と協働した体験的な活動に取り組むことで、次代を切り拓く社会のリーダー育成に努めたい。 ○ 危機管理については、緊急連絡システム(さくら連絡網)の効果的な運用を図りたい。
心身ともに健康な生徒の育成	①食育の充実を図るなど、生徒自らが健康を保持増進できる力を養う。 ②教育相談体制の充実を図り、生徒や保護者の悩みの解消に向けて取り組む。	評価指標 ①「食生活や運動などに気を付け、健康的な生活を心がけている」生徒の割合が70%以上。 ②「教員は悩みや相談などに親身になって対応してくれる」生徒の割合が70%以上。 活動計画 ①-1 食育の啓発を強化し、朝食摂取率を上げる(80%以上)。 ①-2 運動に関する啓発を強化し、運動(30分以上)実施率を上げる。(50%以上) ② 相談週間(ハートフル週間)を設け、ハートフルルームを活用する。	評価指標の達成度 ①「あてはまる」と答えた生徒の割合は72.5%、「あてはまらない」19.7%、「わからない」7.8%であった。 ②「あてはまる」と答えた生徒の割合は62.7%となっており、1年生64.0%、2年生59.5%、3年生64.0%であった。 活動計画の実施状況 ①-1 保健委員会作成の「ほけんだより」を年間6回発行した。朝食の摂取率は、全体で79%であった。 ①-2 「ほけんだより」や保健室前の掲示物を積極的に活用した。運動実施率は38%となり、昨年度を下回った。 ② スクールカウンセラーが配置され、毎月2回生徒、保護者、教員等とのカウンセリングを行った。	総合評価 (評定) B (所見) 健康の保持増進を図るため、毎年授業の中でアンケート調査を実施している。食育を通して健全な食生活の実践を育てている。 教育相談に関しては、クライアントの抱える問題を傾聴する中で、悩みや問題解決に導くなど効果が少しずつ表れている。	近年、多様な悩みを持つ児童生徒が増加しており、スクールカウンセラーの存在は大きいと感じる。 食育の重要性に関しては、地域でも情報発信していきたい。 ○ 「ほけんだより」の発行により、健康情報を広報・周知させる。様々なテーマで興味を持てるよう工夫していく。また保健委員による実験や体験をまとめ、掲示することで可視化を図る。 ○ 今年度よりスクールカウンセラーが配置され、専門的見地からの支援ができるようになった。教職員に対する講義も実施し、教育相談体制の充実を図ることができた。
特別活動の充実	①生徒会活動・部活動やボランティア活動を活性化させ、社会性の育成を図る。	評価指標 ①「生徒会活動・部活動やボランティア活動に積極的に取り組んでいる」生徒の割合が70%以上。 ②「学校行事に積極的に取り組んでいる」	評価指標の達成度 ①「あてはまる」と答えた生徒の割合は全体で74.0%であり、1年生80.0%、2年生76.2%、3年生66.0%であった。 ②「あてはまる」と答えた生徒の割合は、全体で	総合評価 (評定) B	学校への出前授業や福祉体験を通して協力ができる。積極的にアプローチしたい。 ○ コロナ禍の厳しい制約があったが、創意工夫しながら学校行事は計画通り実施することができた。次年度も行事の立案と生徒の積極

	<p>②学校行事に主体的に取り組む姿勢を養い、集団の一員としての所属感を高める。</p>	<p>と思う生徒の割合が70%以上。</p> <p>活動計画</p> <p>① 校内及び地域のボランティア活動を実施し、積極的に参加する。(参加率70%以上)</p> <p>② 生徒会活動・委員会活動を活発にし、連携をとりながら学校祭をはじめとする各行事を充実させる。</p>	<p>83.8%であった。</p> <p>活動計画の実施状況</p> <p>① JRC部を中心とする地域のボランティア活動参加については、少しずつその機会を増やしている。</p> <p>② 感染症に対応した学校運営に関する留意点を遵守し、可能な範囲で工夫しながら各種行事に取り組んだ。式典関係や音楽部コンサートなど一部行事は各教室にオンライン配信し実施した。阿波西祭は、生徒会役員を中心に生徒が工夫しながら取り組むことができた。</p>	<p>(所見)</p> <p>豊かな心と健やかな体を育成するためには、協働的な学びの場や生徒の主体的な活動の場を設定することは有意義である。生徒には、活動についての理解を深めさせるとともに、学校と地域との連携のあり方も重要課題となっている。</p>	<p>的参加を奨励し、全体の活性化を図りたい。</p> <p>○ 部活動の加入率・部員数については、生徒数の減少に伴い、減少傾向にある。ポートフォリオ等を利用して計画させ、部活動や学校行事に意欲的に取り組むことができるよう適切に指導を行いたい。</p>
働き方改革	<p>①勤務時間の管理と意識改革を図る。</p> <p>②地域資源の活用や外部人材を積極的に導入する。</p>	<p>評価指標</p> <p>① 夏季休業中の学校閉庁日を設定し、活用できている教職員の割合が90%以上。</p> <p>② 外部人材の活用が図られているという教職員の割合が70%以上。</p> <p>活動計画</p> <p>① 夏季休業中の学校閉庁日を設定する。</p> <p>② 特別支援教育支援員等の外部人材を授業等で活用する。</p>	<p>評価指標の達成度</p> <p>① 長期休業中に学校閉庁日を実施した。教員の93%が活用した。勤務時間については、総務事務システムから全教職員が把握している。</p> <p>② 外部人材の活用が図られ、教育的効果は大きいと感じている教職員の割合は高い。</p> <p>活動計画の実施状況</p> <p>① 夏季休業中に2日間(8/12, 8/15)、冬季休業中に2日間(12/28, 1/4)の学校閉庁日を実施した。</p> <p>② 外部人材を導入し、社会人講師6名、特別支援教育支援員1名、スクールカウンセラー1名、部活動指導員1名が教育指導に当たった。</p>	<p>総合評価</p> <p>(評定)</p> <p>A</p> <p>(所見)</p> <p>福祉コースにおいて、地域人材(社会人講師)と協働授業の形態で授業を実施している。専門性の高い講師を授業に活用することで生徒の興味・関心は高く、教育的効果が上がっている。</p>	<p>学校には授業以外のたくさんの業務があるが、時間外勤務などを減らし、働き方改革を推進してほしい。</p> <p>○ 学校を取り巻く環境の急速な変化に伴い、学校が抱える課題は複雑化、多様化している。教職員が疲労や心理的負担を過度に蓄積して心身の健康を損なうことがないように、効果的に業務を行うことができる環境を整備することが必要である。</p>

* 「評定」の基準 A：十分達成できた B：概ね達成できた C：達成できなかった